



日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
総務局長 司察 内田 望

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第466号 2019年4月21日発行

「しかし、実際、キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となられました。」コリントの信徒への手紙Ⅰ 15:20

「……キリストによってすべての人が生かされることになるのです。」コリントの信徒への手紙Ⅰ 15:22



初穂

主教 アンデレ

磯 晴久

こった小さな復活（ご本人にとっては決して小さくないが）の出来事に心惹かれました。それは人生のつらい、どうしようもない、そして心が折れてしまってもしようがない状況に置かれた人が、立ち上がっていく出来事でした。建設現場で働く男性がやってきました。思いを寄せる女性に告白できなかった思いを

きる力を与え、立ち上がらせ、てくれていると言います。「今、子どもたちにピアノを教えているんだよ」とてもうれしそうに語っていました。駅ピアノが日々、彼に立ち上がる力を与えてくれているのです。また、今から夜勤に向かう男性が、駅ピアノを奏でながら歌います。演奏後、インタビューに答えて、「自作の歌

つと彼の頭にキスをしました。「彼女と会うまで、自分の人生には何も良いことがなかった。このピアノが彼女と僕を出会わせてくれたんだ」。彼は、駅ピアノと彼女によって、起き上がったのです。駅ピアノとの出会いが、生きる勇気を与え、倒れていた人を立ち上がらせるという、小さな復活の出来事が起こることを教えてくれる、素敵な「駅ピアノ チェコ・プラハ特別編」でした。

こうした出来事が、わたしたちの日常でもしばしば起こっているのではないのでしょうか。

主イエス・キリストのご復活を心からお祝い申し上げます。

先日、偶然、NHKBS1の番組で「駅ピアノ チェコ・プラハ特別編」を観ました。チェコ・プラハで最も古いマサリク駅に置かれた1台のピアノ。駅を訪れたさまざまな人が、音を紡いでいきます。私は、駅ピアノを通して、ピアノを奏でる人々の身に起

自作の歌にし、駅ピアノで弾き語りをしています。演奏後、はにかむような笑顔でインタビューに答えて、「僕は小さい時、両親に捨てられ、児童養護施設で育ったんだ。そこで先輩からピアノを習った。今、家にはピアノがないので、時折、ここに来てピアノを弾いているんだ」。駅ピアノが彼に生きる上での悲しみやつらいことを忘れさせ、生

で、心を整えて、人生を正しく生きるようにと自分を励ます歌なんだ」。彼は以前傷害事件を起こし、刑務所に服役。服役中に刑務所の中にある教会でピアノを習ったと言うのです。出所後、時々駅ピアノを奏でていて、ある日ひとりの女性が声をかけてきました。意気投合し、一緒に暮らすことになりました。そう話していると彼女がやってきて、そ

復活のギリシャ語アナスタシスは、「起き上がる、立ち上がる」を意味する動詞の名詞形です。新約聖書の復活についての箇所原文を見ますと、「神がイエスを起こした」「イエス・キリストは、神によって起こされた」と表現されています。駅ピアノやピアノを通して出会った人々によって、小さな復活の出来事が起こっているのではないのでしょうか。

（次頁4段目に続く）

第122(臨時)教区会から

今年中に「教区墓地」設置

書記 司祭 ヨシユア 原田 光雄

去る3月24日、第122(臨時)教区会が主教座聖堂(川口基督教会)で開催された。毎年3月下旬に開かれる「臨時」教区会だが、今回は、例年同様の、前年度教区会計「決算」(議案第1号)及びそれに伴う「不足金処理」(議案第2号)に関して承認を求め議案に加え、議案第3号「大阪教区墓地設置の件」が提出され、すべて原案どおり承認された。

決算では、予算総額3,950万円のところ実績は、収入合計が3,940万円弱と予算に届かず、逆に、支出合計が4,100万円弱と予算を上回り、その差額160万円余の不足金が生じた。収入では、各教会等による教区費分担金3,770万円は満たされたが、臨時献金(対予算比9万円弱不足)と堅信式信施金(同5万円弱不足)は満たされなかった。支出では、大半の科

目で予算額以下であったものの、職員俸給(一部、定期期間の教役者給与を含む)とそれに伴う社会保険料が合計280万円弱、牧会補助金が90万円、それぞれ予算を超過した。不足金160万円余に関しては、「特別積立金」の取崩しにより賄われる。

「大阪教区墓地設置の件」は、数年前、当教区で2教会を除く各教会に所在する納骨堂の設置のすべて無許可であることが大阪府により指摘されたことから始まった事態への対応の一環。その後、大半の教会に関しては順次、相当規模の工事を伴う施設の整備や、必要書類の提出などの手続を経て、その設置許可が得られた。ところが、教会が、関係する他の法人(学校法人や社会福祉法人)所有の土地や建物を借用している場合などは、納骨堂を設置することはできない、とのこと。加え

て、教会によるが、現有納骨堂の納骨場所の不足等々の諸事情を踏まえたもの。設置が予定される教区墓地の所在地は大東市龍間(たづま)にある民間経営の「大阪霊園」内で、設置時期は今年度中、そのおもな財源は特別財産勘定。具体案が示されたのは今回が最初だが、できるだけ速やかに実行する必要があるとの指摘もあり、承認された。なお、設置費用を補うため献金も呼びかけられる。会期は少し延長され、5時22分に閉会した。

(はらた みつお・聖ルシヤ 教会牧師、聖ルカ教会管理 牧師、東光学園チャプレン)

(前頁より続く)

「キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となられました。死んだ者の中から、神がイエスをご自分の御手のうちに、「初穂」として迎え入れられました。人間イエスが、初穂として神の御手に迎え入れられたということは、キリストとながるわたしたち人間全体も、神の御手に迎え入れられる道が開かれたということです。

「キリストによってすべての人が生かされることになるのです。」

イエスは、わたしたちの初穂として、十字架上で言葉に

ならないような苦しみを負い、命を落とされました。私たちの罪と、私たちが背負う苦しみや悲しみを一身に背負って、十字架上で命をささげられました。しかし、それですべてが終わったわけではありません。神はイエスを復活させます。神はイエスを起き上げさせるのです。それは死すべき体を持つ私たちを、復活の命へと招くためでした。わたしたち一人一人に、復活の命へ向かう道が開かれたのです。

(いそ はるひさ・大阪教区 主教)

臨時教区会 メッセージ

新しい共同体、新しい宣教のあり方を求めて 「種を蒔く人」のたとえ マルコによる福音書4:1-9

大阪教区主教 アンデレ 磯 晴久

本日、主日の午後、ご多忙な中、大阪教区臨時教区会にご参集下さり、心より感謝申し上げます。

まず、3月31日をもって定

年退職されます竹林徑一司祭に感謝を申し上げます。

この教区会は教区の財政、特に会計決算のための教区会ですが、お手元の議案書を見

て下さるとわかりますように、大阪教区墓地に関する件についてご審議を頂きます。よろしくご審議の程お願い致します

(次頁1段目に続く)

(前頁より続く)

す。また、今年には川口基督教
会で開催されます教区礼拝で
すが、審議後、竹林司祭より
皆様から寄せられたアンケ
ー トについてご報告があります。

さて、いま私たちが生き、
生活しております社会・世界
は、どのような土地でしょう
か。道端、土の薄い石地、茨
の中、良い土地でしょうか。
オリンピック、大阪でもサミ
ットや万博がマスコミを賑わ
しています。何とか右肩上が
りの経済を取り戻そうと躍起
になっています。しかし、私
は、実際には右肩上がりの時
代は終わり、右肩下がりの時
代に入っているのではないか
と考えています。原発問題、
わたしたちのこどもたちや孫
に、大きな課題を残してしま
っています。また、外国籍を
持つ方、280万人、190ヶ国。さ
らに外国からの方が増えます。
日本は多文化・多民族国家に
なっています。共生社会
の準備はできていません。今
まで経験しなかった時代を私
たちは今経験しつつあります。
神さまは私たちに期待して

おられます、新しい世界の創
造を、今までになかった新し
い宣教の働きを、新しい共同
体を創造することを。その土
台となるものを学ぶ必要があ
ると思います。

先日、主教座聖堂参事会主
催で、大阪聖パウロ教会にて
行われました「信徒奉事者の
学び」の集いもそのひとつで
す。連合男子会が秋の修養会
で、昨年合併が教区にて承認
された東京教区の3教会、イ
ンマヌエル新生教会(練馬聖
ガブリエル教会)、池袋聖公会、
聖マルチン教会の牧師である
卓志雄司祭を招いて研修会を
計画されていますが、この集
いも新しい共同体を求めている
研修会です。

豊中3教会は、第5主日に
必ず合同礼拝を行うことを各
堅信受領者総会で決議しまし
た。今後の歩みに注目しまし
よう。教会の合同・合併につ
いても皆様のお祈りとアイデ
アをよろしくお願いいたしま
す。

そして何より大切なこと
は、種が落ちる土地が、道端
か、土の薄い石地か、茨の中
か、良い土地か、いろいろあ

るでしょうが、確かなことが
あるのです。それは皆様が一
人お一人に神様から「種」が
与えられているということだ
す。可能性の種です。皆様。
どうぞ植木鉢を抱えていると
想像してください。その土の
中に可能性の種が植えられて
います。それがあなたであり、
あなたの教会です。先日の芦
屋聖マルコ教会報を見ますと、
ウイルソン司祭がスチュワー
ドシップ(良き管理者)につ
いて書いておられます。「わ
たしたちはまた、神の協力者
としてあなたがたに勧めます。
神からいただいた恵みは無駄
にしてはいけません」(コリ
ントの信徒への手紙Ⅱ 6:19)

1) スチュワードシップもこ
の「神からいただいた恵み」
という聖句も、この私たちに
与えられている可能性の種と
つながっています。皆様の可
能性の種は必ずあります。そ
して種は、一つではありませ
ん。可能性の種を信じて、歩
み出しましょう。新しい共同
体、新しい宣教のあり方を求
めて。

(いそ はるひさ・大阪教区
主教)

京都教区・大阪教区合同 聖職養成委員会 春のセミナー

説教のよろこび

聖職候補生 ウイリアム ヒューム ユーワン



3月21日(木・休)、
京都教区・大阪教区
合同の聖職養成委員
会、春のセミナーが大阪聖
パウロ教会で開催されまし
た。セミナーのテーマは「説教の
よろこび」で、ウイリアムス
神学館の館長で、説教論の担
当者である黒田裕司祭が講義
をされました。

春のセミナーは朝の礼拝か
ら始まり、黒田館長は一時間
半お話をされました。初め
に、説教の定義について話さ
れ、「説教」と「奨励」の違
いにも触れられました。そし
て、なぜ福音書朗読が聖職者
しか読むことが出来ないのか
という質問について、黒田館
長は、執事及び司祭の聖職按
手式文の中にある、「權威の
しるし」という説明をされま
した。その後、聖餐式と「み
言葉」にかかわる奉仕につ
いてのお話をされました。

午後、大阪教区の義平雅
夫司祭と京都教区の中尾貢三
子司祭がルカによる福音書
13:22-35に基づいて説教を
されました。お二人の説教と、
一般の説教について、参加者
の皆さんで80分間分かち合い
をしました。その分かち合い
の中には、説教のタイトルの
重要性と説教の覚えておいて
欲しいことが、聖職者の立場
から及び会衆の立場から何度
か触れられました。春のセミ
ナーは夕の礼拝によって終わ
りました。

聖職養成委員会のセミナー
は神学生と聖職候補生と執事
が対象ですが、近年対象者の
人数が減って来たために、こ
の会は司祭も参加することが
出来ました。参加者は聖職養
成委員を含む16人(聖職者10
人)でした。

(ひゅーむ ユーワン・堺聖
テモテ教会勤務、プール学
院中学校・高等学校・短期
大学チャプレン補、桃山学
院教育大学チャプレン補)

世界祈祷日に参加して

ベタニアのマリア 石川 由紀子

昨年春、教区婦人会代表を引き受け伝道の担当になりました。半年間ACWCJ関西支部一日研修会の準備をし、婦人会の方々へ参加を呼びかけ、また世界祈祷日の参加を呼びかけるのが主な仕事です。毎年3月の第一金曜日は世界祈祷日の集まりが催され、今年3月1日(金)、大阪では大阪クリスチャンセンターに於いて開催されました。

この日世界的に教派を超えて繋がりのある女性達が一つのテーマで共に学び祈ります。会ったことのない、でも確かにこの世界において同じように祈る女性達との繋がりを

感じるこのことができる素晴らしい機会です。今年はスロベニアからのメッセージでテーマは「いらっしやい、準備はすっきりできています」。

日本キリスト教団阿倍野教会の山下壮起牧師によつてルカによる福音書14章15、24節についてのメッセージがありました。大勢の人数の予約をとっても誰も現れないという半年程前に話題になったニュースからの導入で話されました。「祝宴に予め招かれていて、すでに出席の返事をしていない人々が、いろんな理由でその招きを断りました。この聖書の箇所のように、



スロベニアからのメッセージ
いらっしやい、準備は
すっきりできています

二〇一九
世界祈祷日

神さまは私たちを祝宴に招いて下さっているのに、神さまを失望させる言い訳を容易に見つけてしまっていないでしょうか」と語られました

た。

参加者161人、うち聖公会は40人、献金額は135,705円でした。私は朗読をさせていただき、隣におられた他教派の牧師夫人の方とお話で

プール学院高等学校

釜ヶ崎フィールドワークで大切な経験

司祭 フランチスコ 成岡 宏晃

3月7日(木)・9日(土)の2日間、プール学院高等学校の希望者総勢20人で釜ヶ崎にて、フィールドワークと四角公園での炊き出しのお手伝いをさせていただきました。

現実を目の当たりにしつつ、当事者意識をもって自分たちに何ができるか、考える大切な体験となりました。

大勢の方の協力とお祈りに支えられて無事にプログラム

の箇所のように、神さまは私たちを祝宴に招いて下さっているのに、神さまを失望させる言い訳を容易に見つけてしまっていないでしょうか」と語られました

きたのも楽しかったです。8教派2団体が集い、共に祈り賛美する、貴重な時間をもつことができました。

(いしかわ ゆきこ・大阪聖愛教会信徒)



を過ごすことができ感謝いたします。

参加者の声『みんなにホームレスの人たちのことをよく知ってほしいです。そしてバカにしてほしくないです。一日一日を大切に、一つ一つに感謝しながら生活しなければならぬと、この一日で感じました。また、当たり前の日々がどれ程幸せなのか伝えたいです。』

(なるおか ひろあき・城南キリスト教会牧師、プール学院中高チャプレン)

第25回 関西 JOCS バザー

日 時 5月11日(土)
午前11時~午後3時

会 場 大阪聖パウロ教会

連絡先/ JOCS 関西事務局 06-6359-7277

春の訪れが嬉しいこの季節、毎年、気がかりなことがある。公立小中高の各校で行なわれる卒業式と入学式、殆どの場合、「日の丸」掲揚と「君が代」斉唱が行なわれ、その際、参列者が起立し歌唱することが式次第の中に有無を言わさず決めつけられていることだ。その実施率は99%超と言う。起立と歌唱を職務命令とし、それを実行しなかった教職員を処分するケースが続出。その処分の取消を求める訴訟も起こされている。

例えば聖公会信徒を含めキリスト者の場合その信仰ゆえ、また、一般的には自らの良心に従うゆえに起立や歌唱等をしていない、という道が選びとられる。信仰や良心の自由は、「神にかたどって創造された」人間の尊厳の核心で、憲法も「思想及び良心の自由は、これを侵してはならない」と明言する。日の丸と君が代に纏わる問題の根っこには言うまでもなく、かつて日本

がしでかしたアジア諸地域への侵略・植民地化の歴史的課題

聖職リレーエッセー ⑧



気になる「日の丸」「君が代」の季節

司祭 ヨシュア 原田 光雄

題について、未だ和解にはほど遠い現実が横たわっている

「戦後」はまだ始まっていない!

今年、いわゆる国旗国歌法が公布・施行されて20年。日の丸や君が代は日本社会に定着しているとされ、処分の取消訴訟に関する最高裁の判断は軒並み、その職務命令を合憲とする。一方で毎年、起立や歌唱をしない人たちだけでなく、職務命令どおりにしている人たちの中にも、自らの信仰や良心に痛みを感じている人たちが相当数いる。そういう学校の現場で、子どもたちは……。

人間の尊厳の核心としての信仰や良心の自由は、教育の核心でもあろう。徹底して「人」を大切にすることで、イエスの福音に聴くとき、私たちの歩む道は自ずと明らかに示されると思う。

(はらた みつお・聖ルシヤ教会牧師・聖ルカ教会管理牧師、東光学園チャプレン)
※次回はヤコブ松平功司祭
にお願いたします。

夕べの祈りに集い、
喜びの歌をささげましょう

聖公会の伝統

歌による夕の礼拝

5月18日(土)

場所：川口基督教会

第1部 13:00~15:15

「歌による夕の礼拝」についての学びと練習

第2部 15:30~16:30

「歌による夕の礼拝」

どなたでもご参加ください。

主催：大阪教区 宣教局 礼拝・音楽委員会

日本聖公会

2019年 大阪教区婦人会

昇天日礼拝(聖餐式)・総会

日時 2019年5月30日(木) 10時30分~

場所 大阪城南キリスト教会

司式 テモテ 内田 望司祭
(大阪教区婦人会チャプレン)

説教 ステパノ 柳 時京司祭
(川口基督教会牧師)

最後まで支えてくださる主

司祭 ペテロ 竹林 徑一

天皇の代替わりに伴う改元

発表フイーバーの中で、定年



退職を迎えました。イ
チロー引退とも重なり
ましたので、個人的に
は記憶に残る春となり
そうです。それにして
も「平成最後の…」と
いう言葉、話題がもて
はやされるものすごさ

には驚かされ、一体これは何
を意味しているのか？と考え
ざるを得ませんでした。

私は「平成時代は、とても
良かったから、終わるのは名
残り惜しい。残念だ」という
思いでいる人と「平成は事件
や災害も多く、問題山積だか
ら、次は良いことを待望する」
という期待を抱く人に、大き
く二分している印象を受けま
した。極東の日本だけの事象
に過ぎず、世界共通に時の流
れは進んでいるのに、元号の

切れ目、最後まで最初に思いを
込めようとする心理はどこか
ら来るのでしょうか。自分な
りに、今の気持ちや生き方に
踏ん切りをつけたいという表
われかもしれません。個人だ
けでなく社会的にも、ストレ
スがかかり溜まってきていて、
私はあまりいい傾向ではない
気がしています。

最後（最期）と最初にこだ
わっている聖書の記事は、ヨ
ハネ黙示録やヘブライ書等に
も見られますが、パウロは第
一コリント書15章で、復活と

結びつけながら論じています。
ここで彼は、「復活などない」
と言っている人たちに反論し
ながら見解を展開しています
が、復活の出来事について説
明・説得をしているのではな
く、自分自身が復活したキリ
ストに会って、どう変わった
かを証言し、自分の内に働い
てくださる神の恵みへの感謝
を述べています。

どうぞお元気で 長年の司牧に感謝

京都教区への出向に際して

司祭 クリストファー 奥村 貴充



「大異動があります。会っ

てから話しましょう」と磯主
教様より電話があった時、自
分の中では「北海道？それと
も沖繩？」と思いついていま
ました。話によると京都教区
へ出向ということで、それで
も地域が広いので「どこだろ
う？」と考えていました。

そういう悶々とした日々が
経つこと2週間後、高地主教
様と面談、和歌山の田辺聖公
会牧師および幼稚園や施設チ
ャプレンが任務だと告げられ
ました。「なんだ、隣の県か」
と思ってしまうことが、特
急で2時間もかかることを考
えると「思えば遠くへ来たも
んだ」と駅のホームに立った
時に感じました。

さて、両教区は特別協働関
係にあります。委員会によっ

ては既に協働していますが、
今後は人的交流なども含めて
更なる協働が進められること
が望まれています。

最後になります。両教区に
連なる1人ひとりの信仰生活
とこれからの働きに良き導き
と祝福がありますようお祈り
します。今後ともどうぞよろ
しくお願ひいたします。

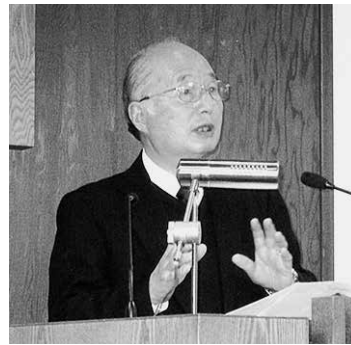
（おくむら たかみつ・田辺
聖公会牧師、シオン幼稚園
チャプレン、愛の園、深和
ホームチャプレン）

無茶な表現が許されれば、
40歳代半ばまでプロ野球の最
前線で活躍したイチローが、
振り返りの中で淡々と野球の
楽しさを述べている姿と、「我
らの主イエス・キリストによ
って我らに勝利を与えて下さ
る神に感謝。」（I・コリント
15・57、田川健三訳）と言っ
ているパウロの姿に、重なる
ものを感じています。そして
それは、聖公会の教役者とし
て定年まで、私に基督者とし
て元気で働きを与えて下さっ
た神様への感謝とも重なって
います。I・コリント15・58
の聖句を、特に若い世代の
人々に贈りたいと思います。
（たけはやし けいいち・大
阪教区退職司祭）

大阪キリスト教連合会 一致祈禱会

主の教会になる

ヤコブ 小出 裕司



お話をされる窪寺俊之先生

3月24日(日)午後3時30分より5時まで、日本自由メソヂスト教団大阪東南キリスト教会を会場として、大阪キリスト教連合会一致祈禱会が開かれ、記念メッセージを窪寺俊之先生が行われました。まず、最初に先生が淀川キリスト教病院のホスピス病棟で出合った、1人の患者さん

の話をされました。「もう私の病気は治らない、私でもクリスチャンになれますか」と問われ、「なれます」答えると、自分の中にイエスを迎えてクリスチャンになられた。当病院で多くのことを学んだ。

当日の主題は、使徒言行録6・17から初期キリスト教会の状況について話された。「弟子の数が増え教会は成長していき、祭司も大勢信仰に入ったと記されている。それには、3つの秘訣があった。①5節、良き働き人があ

講演学習会

聖書とパレスチナ問題

「排他的な神」を超えるべき私たち

日時：5月25日(土)午後2時～

場所：カトリック大阪梅田教会

講師：岩城 聡司祭

参加費：無 料

共催：日本基督教団大阪教区社会委員会
パレスチナの平和を考える会

後援：日本聖公会大阪教区宣教局

協力：カトリック大阪大司教区社会活動センター シナピス

えられた、7人の名前が記されている。②海外で生まれ住んでいた人が、ユダヤ人であ

生きる力とイエス

料に記されていた。講演者



いつも教区や教会が

このままでいいのだろうか、心配してください。このような講演会があります、とお知らせを持ってきてください。私は残念ながら、その集まりには参加できなかったが、考えさせられる内容が同封の資

は「東広島シユタイナーこども園さくら」の理事長であり広島大学名誉教授の広瀬俊雄さん。広瀬さんは大学でこどもの芸術創造力を磨き、生きる力を育む「シユタイナー教育」を専門に研究された方である。封筒の中に広瀬さんがある教会でなされた証しが入っていた。その中で広瀬さんは「多くの教育者・大人が、

子ども教育で忘れていた大切なことがある。それは大工仕事だ。キリスト教学校や教会学校で、大工仕事を取り入れられたら」と語っておられる。達成の喜びは大きく、大工仕事によって、どれほど子どもたちが、意欲をもって、たくましく生きる力を身に着けることができるかと力説しておられる。

いくつかの中学校や小学校、保育園で取り入れているそうである。知識偏重の時代に、この取り組みは興味深いと思った。そういうえば、イエスママがこども時代にお受けになった教育の一つは大工仕事であった。興味のある方は、資料が手元にあるので、主教にお尋ねください。(アンデレ)

私達自身がそういう人にならないなければならない。マルコ6・30以下から私達の持っているものを、神にささげることとで神様は奇跡を行ってくださる」と結ばれた。参加者：約60人 献金：64,840円 主催：大阪キリスト教連合会 (こいで ひろし・大阪聖アンデレ教会信徒)

違いを大切にするために U26 運営委員会より



クリストファー 小西 宏平

主の平和

日々U26のためにお祈りとご支援をさせていただきありがとうございます。ありがとうございます。

私達、U26運営委員会には「知る・つながる・教会の絆」という運営理念があります。全国の18歳から26歳の青年達のつながりを作り、個人が所属している教会・教区を超えた青年同士のつながりを作ることを目指しています。

今年でU26が発足してから8年が過ぎました。当初は「若

ました。

私自身、U26運営委員会に所属して5年になります。更にたくさんの方の青年同士のつながりを作り、教会に関わる青年の教会生活を豊かにしたいという思いから運営委員会に入りました。

実際、運営委員として活動が続いていると、個人の所属している教会・教区の違いから意見が割れる時に、考えの違いを感じました。同じ聖公会であるのに、全国の青年が一度に集まり交流する会につ

い世代の青年が教会・教区・聖公会を引っ張っているように思っている。この思いのもとにU26運営委員会が発足し、「全国の青年の集まりが4年に一度の青年活動だけでは寂しい」という意見から毎年U26全国集会を開催してき

いて考えるだけでも意見の違いに悩まされる場面が多くありました。今回の集会の企画を行っている中でも「参加者全員にとって価値のある集会は作ることはできない」、「全教区の参加者が楽しめる活動を作ることは無理だ」、「管区規模での活動は青年にとって負担なものではないか」と私の中で考え始めていました。そんな時、運営委員全員で『共に生きる』を今回の集会のテーマにし、プログラムの企画を進めました。今回のメインプログラムである分かち合いでは、人生の中で自分が紹介したい人を思い返し、その人から受けた影響を分かち合いの中で話し、自分は今後どのような人になりたいかを考えるプログラムでした。今年度の始めから集会当日まで、私の中でU26の活動を否定的に考えていましたが、集会中に分かち合いでの話を聞いてみると、それぞれ違った人生があり、自分と違った人から影響されて、人は生きていると気づきました。

それまで違いに悩まされていた私でしたが、考えの違い

大阪教区・京都教区 教区子ども礼拝

キッズフェスティバル2019

～ パーティーしよう! ～

「イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行って、その栄光を現された。」

(ヨハネ2:11)



4月29日(月・休)

10:30 オープニング

(10:00 受付～15:00 解散)

会場：大阪教区 川口基督教会

主催：大阪教区 宣教局 生涯学習委員会
京都教区 宣教局 教育部

があるからこそ集会は楽しく、時には議論する場面もあるけれど、時間をかけ、一つひとつの考えに尊重し、譲歩してお互いにとって共存できるようにならなくてはならないことに気づき、この活動を否定的に考えていた私が恥ずかしくなりました。

違いを大切にしなければならぬ。私自身もできては

達とも共存できるように時間をかけてお互いに努力していかなくてはなりません。初めから「できない」「無理」とあきらめてはいけません。今後U26の中でも議論を重ね、価値のある活動について考えるには皆さんの議論をしていかなければなりません。今後も価値のある青年活動ができますよう努めていきますのでお祈り願います。

(こにし こうへい・高槻聖マリア教会信徒)



小笠原聖ジョージ教会の皆さんと

2019春のJ'sキャンプ



@小笠原

マリア 高木 千尋

京都教区と大阪教区の合同で毎年春と夏に中高生のキャンプがあります。春はミート&ミツシヨンのテーマで、今年是小笠原諸島へ中学生8人とスタッフ5人の計20人が3月22日(金)〜27日(水)の5泊6日で行きました。早朝の京都駅で

集合のため、福井県など遠方からの参加者は、前日に京都のウイリアムス神学館で集まり長旅になりました。東京の竹芝港から、船で24時間揺られて小笠原諸島の父島に到着します。ほぼ全員が船酔い状態でしたが、美しい景色を見て徐々に元気を取り戻しました。グループに分かれて自由に昼食をとったり、海で遊んだり、沈む夕日を見たり、ホエールウォッチングをしたり、島で唯一の教会「日本聖公会小笠原聖ジョージ教会」で夕の祈りや聖餐式をさせていただき、現地の信徒の皆さんと交流ができました。戦後の貴重な体験話もお聞きして、とても有意義な時間となりました。

「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」(ヨハネによる福音書20章21節)を主題聖句とし、事前に2つの宿題をお願いしました。①「小笠原クイズ」小笠原の生活や自然や歴史について事前に調べてから参加してもらうことを目的として、持ち寄ったクイズを船の上で出題しあい楽しみました。②「なぜ小笠原で平和学習なのか」を考えてきてもらい、小笠原で沢山の経験をした最後の日に発表してもらいました。

かえり 京都教区
ふり グレース 野村 佳織

帰りの船も船酔い状態でしたが、皆さんで景色を見ながら唄ったりカードゲームを楽しみながら共に過ごし、無事にキャンプを終えることができました。(たかぎ ちひろ・石橋聖トマス教会信徒)

6日間は私の人生の中で絶対に忘れないキャンプとなりました。今までありがとう！

わかりませんでした。でも今は、色々あった平和学習の中で一番考えさせられたと思います。今まで考えていた平和は武器を持ち、戦うことのない状態だと思っていました。でも、島民の方々の話を聞き、武器を持ち、戦うだけでなく、それに伴った改名や強制疎開といったものも平和な状態ではないんだ。と考えると「平和とは何か」という根源が揺らぎました。やっぱり、全員が悲しい思いをせずに暮らせる事が平和なのではないかと思うようになりました。

戦争だけでなく、やっぱり広大な自然もとっても印象に残っています。世界自然遺産に登録され、ネットをはり巡らせ、外来種が来ないようにしている事により自由じゃなくなりました。とガイドさんが言っていたことをよく覚えています。でもそうやって自然を必死に守ってきたからこそ、美しくて見たこともないような海や日の出が見れるんだなあ…

また会おうね。(のむら かおり・京都教区 大津聖マリア教会信徒)

かえり 大阪教区
ふり ペテロ 当舎 葵

今回、初めて船で24時間の移動で僕は酔ってしまいました。父島については気分もよく、大自然をたんのうできました。このキャンプに来る前は「小笠原で平和学習！」って思ったけど、実際に来てみるとその理由が分かりました。小笠原は海がきれいで静かな所の一方で山の中に入ると、戦時中に使用されていた施設や爆弾が投げられた所があり、来てみないと分からないこともあるんだと改めて思いました。

最後のホエールウォッチングに参加できなかったのが唯一の心残りだけど、みんな夕方陽を見たり海行ったりして楽しかったです。夏も楽しみにしてま〜す!! (とうしゃ あおい・大阪教区 西宮聖ペテロ教会信徒)



ようこそ大阪教区へ

よろしくお願いいたします

司祭 バルナバ 小林 聡

主イエス様のご復活おめでとうございます。

私は小林聡と申します。京都教区高田キリスト教会で幼児洗礼、堅信を受け、25年間教役者としての働きをさせて頂き、今回大阪教区に転籍することとなりました。

その間、様々な方々の祈りに支えられ、素晴らしい出会いを与えられ、牧会の働きの恵みを頂いてきました。特に前任地となります福井聖三一教会、聖三一幼稚園、敦賀キリスト教会、晴明保育園での8年間は、心の支えともなっております。今回の転籍にあたりまして、定任教役者がいないという状況にある教会のことを、今まで以上に意識することとなりました。

この度、大阪聖パウロ教会、聖贖主教会、博愛社の牧師・チャプレンとしての働きの場を与えて頂きました。神さま

が示されている宣教の働きを共に祈りつつ担わせて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(こばやし さとし・大阪聖パウロ教会牧師、聖贖主教会牧師、博愛社チャプレン)

世界の窓

◎WCCのコンサルタントが墜落事故で命を落とす

3月10日、WCC (世界教会協議会) の『命の経済 (Economy of Life)』の環境

専門家ノーマン・テンデイス (Norman Tendis) 牧師はエチオピア航空墜落事故によって犠牲となりました。テンデイス牧師はオーストリア福音主義教会の牧師で、3月11日、15日にかけて、ケニア・ナイロビにおいて第4回国連環境総会に出席するために、アデイス・アババからナイロビまで飛行機に乗っていました

たが、航空機が離陸直後に墜落しました。その事故で157人が死亡しました。

近年の非常に大きな経済変化は現在の経済体制においての問題のある側面や不穏な傾向が強調されていきましたので、WCCは貧困と裕福と環境の間の極めて重要な関係を理解するために、2015年に「富・貧困・生態系 (PWE)」計画は『命の経済』という報告書を発表しました。更に、2019年3月12日、WCCはキリスト教徒が公正や持続可能なライフスタイルを実現するよう促すために行程表を発表しました。その行程表の筆頭筆者はノーマン・テンデ

イス牧師でした。(Anglican Communion News Service, March 12th 2019)

◎聖歌の作詞者の誕生を祝った

3月10日、イギリス、北アイルランドの都市エニスケレンにおいてセント・マッカーティンズ大聖堂で聖公会の聖歌の作詞者セシル・フランシス・アレクサンダー (Cecil Frances Alexander) (1818年〜1895年) の誕生200周年を祝いました。アレクサンダー夫人は北アイルランドに生まれ、イギリスにおいて始めたばかりの日曜学校運動の活発なメンバーでした。また、彼女の人生を通じて子供のキリスト教の教育に集中し、約400の聖歌や詞を作った。アレクサンダー夫人の作詞は子供を対象としているので分かりやすいです。日本聖公会の聖歌集の中には、六つのアレクサンダー夫人の作詞があります。とても有名な作詞は『ダビデの村里』(聖歌第70番)と『すべてのものは』

(聖歌第322番) です。アレクサンダー夫人は、出版した書物の利益を全額慈善事業にさげました。(Anglican Communion News Service, March 13th 2019)

邦訳: ウィリアム ヒューム ユーワン (堺聖テモテ教会勤務、プー学院中学校・高等学校・短期大学チャプレン補、桃山学院教育大学チャプレン補)

※今号より「世界の窓」はヒューム ユーワン聖職候補生が担当されます。



教区の動き

常置委員会報告

2月5日(第4回定例)
 2月27日(第5回臨時)
 3月18日(第6回定例)

I. 主教報告 及び諸報告

*9月14日(土) 開催予定の連合男子会に、東京教区練馬聖ガブリエル教会の卓志雄(タク・ジウン)司祭を招き、講演を願う予定。
 *「教区事務所だより」は、4月より原則として紙媒体での送付をメール配信に変更し、各所で必要部数を印刷して貰うことにする。
 *ウイリアムス神学館では2019年度1学期に公開講座「勸話を作ろう」(仮称)を開設計画(7〜8回、受講料無料)
 *4月23日(火)、桃山学院の昭和町キャンパスの起工式が行われる。
 *6月1日(土)、プール学

院は創立140周年記念礼拝(学院職員のみで実施)。
 *聖書協会共同訳の試用が主教会で認められている。試用して意見や感想を教区主教まで寄せて欲しいとされた。

*石橋聖トマス教会60周年(5月5日)、堺聖テモテ教会

130周年(6月9日)、西宮聖ペテロ教会90周年(6月23日)、それぞれ記念礼拝を行う予定。

II. 協議事項

*芦屋聖マルコ教会より信徒奉事者1名(宮本憲兄)の追加承認申請があり、審議の上主教に推挙。
 *管区主催「原発のない世界を求める世界協議会」(5月28〜31日)にウイルソンウオーレン司祭と寒河江研司兄

(大阪聖三一)に参加いただくことを確認。
 *【兼牧・管理牧師・協力聖職等のガイドライン】について、見直しを行うことを討議、財政局財務委員会において検討願う。
 *吉岡康博弁護士との顧問契約を継続することを確認。
 *大宗連(同和問題)に取り組む大阪宗教者連絡会議)の常任議員として、竹林徑一司祭の後任に太田幸彦兄(教区事務所主事)を任命。

務所主事)を任命。
 *プール学院より磯晴久主教に学院長への就任要請、また成岡宏晃司祭にチャプレンとしてもう1期推薦要請があり了承(いずれも任期3年)。
 *主教座聖堂参事として、内田望司祭(長)、柳時京司祭、韓相敦司祭が任に当たられる。信徒は変わらず鈴木靖夫兄(聖マタイ)、高橋明子姉(川口)、田中史姉(川口)、井上恵美子姉(マリヤ)の4名。
 (以上)

公 示

教主降生2019年3月1日
 日本聖公会大阪教区 教区主教
 主教 アンデレ 磯 晴久

下記のとおり、人事異動を発令します。

- 司祭 ヨシュア 原田 光雄
 4月1日付 富田林聖アグネス教会の主日勤務を解く。
- 司祭 ヤコブ 松平 功
 4月1日付 聖ルシヤ教会の主日勤務を解く。
- 執事 ペテロ 金山 将司
 4月1日付 川口基督教会にて週1日の勤務を命じる。
- 司祭 ウィリアムス 竹内 信義(退)
 4月1日付 庄内キリスト教会囑託の任を解く。
- 司祭 ダニエル 山野上素充(退)
 4月1日付 東豊中聖ミカエル教会囑託の任を解く。
- 司祭 ペテロ 岩城 聰(退)
 4月1日付 川口基督教会囑託(月1回第2主日および週1回土曜日の勤務)を委嘱する。
 ただし、法規53条第2項に基づき、任期を1年とする。

祝 受 洗



○大阪聖ヨハネ教会

リベカ 荻内 景子
 リディア 高木 道子
 (2018年12月23日)

○聖贖主教会

パウロ 竹下 陽翔
 (3月3日)

祝 初 陪 餐



○聖贖主教会

パウロ 竹下 陽翔
 (3月3日)

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇ 5月8日 (水) 午前 10 時 30 分

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 ペテロ 岩城 聰司祭

司 祭 米村 健治 (1979.5.15)

伝道師 小幡 久能 (1961.5.24)

司 祭 アーネスト・ゴードン・ハッチンソン (1973.5.29 英)

宣教師 メーベル・C・ボックス (1984.5.30 英)

◇ 6月12日 (水) 午前 10 時 30 分

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 洗礼者ヨハネ 山本 眞司祭

司 祭 ロバート・マルコム・ミルマン (1945.6.3 加)

司 祭 オーガスチン 芦澤 光雄 (2002.6.4)

司 祭 チャールズ・フレデリック・ワレン (1899.6.8 英)

司 祭 ウイリアム・ペンジェリー・バンコンブ (1942.6.10 英)

司 祭 ジョージ・テンプシー (1960.6.11 英)

司 祭 ダニエル 植村 信久 (1980.6.13)

司 祭 ステパノ 橋本 節 (1996.6.15)

司 祭 アーウィン・ヘンリー・コレル (1926.6.16 米)

伝道師 マルタ 榎内 晰子 (1946.6.18)

司 祭 ベニヤミン 東 信行 (1943.6.19)

司 祭 牧岡 鉄弥 (1919.6.20)

司 祭 ルイス・パーキンソン・ヒル (1943.6.22 英)

宣教師 エディス・メアリー・バーナウ (1944.6.29 英)

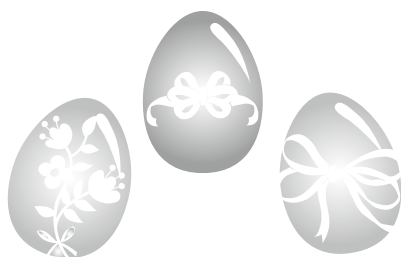
主 教 横田 道信 (1946.6.29)

宣教師 アリス・マリアン・コックス (1949.6.29 英)

司 祭 ヨハネ 荒木 久雄 (1988.6.30)

司 祭 パウロ 水谷 博彦 (2008.6.30)

*教役者逝去記念聖餐式は、原則毎月第2水曜日午前 10 時 30 分から、主教座聖堂(川口基督教会)で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。



○石橋聖トマス教会
パウロ 山崎 諒 (4月7日)

○聖贖主教会
マクダラのマリヤ 竹下 誉子 (3月3日)

○大阪聖ヨハネ教会
リベカ 斉藤 美枝 (3月5日・85歳)

○西宮聖ペテロ教会
モニカ 原田志津子 (3月4日・90歳)

祝 受 按



○川口基督教会

アキラ 水嶋 多子 (2月24日)
プリスキラ 水嶋 多子 (2月24日)

○大阪聖ヨハネ教会
リディア 高木 道子 (3月17日)

○城南キリスト教会
ヨハネ 渡辺 晴男 (1月7日・71歳)

○川口基督教会
イサク 橋本 義彦 (3月21日・79歳)

魂の平安を
祈ります

○東豊中聖ミカエル教会
モニカ 天野 由美 (3月10日・89歳)

○尼崎聖ステパノ教会
ハンナ 志賀 満枝 (3月1日・83歳)

○聖贖主教会
イサク 本多 俊治 (3月10日・89歳)

ミカエル 村岡 明司祭
中部教区退職司祭・ミカエル村岡明司祭が4月6日(土)、入院中の病院で逝去されました。91歳。村岡司祭は川口基督教会でご奉仕下さいました。魂の平安をお祈りします。

○5頁公示下より3行目(誤) 上記教区会の書記及び会計に下記の者を指名します。
(正) 上記教区会の書記に下記の者を指名します。
○10頁逝去者(誤) 安部 良(正) 安部 良

お詫びと訂正

教区報第465号に誤記がありました。お詫びして訂正いたします。